

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|----------|---|--|---|---|--|--|
| 分科会の名称案 | 元気 みのお …人がげんき、街がげんき、山がげんき… | 人と人が関わり、人が育つ | ひとが育てる環境 | 命の森を豊かにする。安心して暮らせるまちづくり | 市民主体のまちづくり | 箕面市の経営改革 ビジョンと戦略 (略称:経営改革分科会) |
| リーダー氏名 | 田中 一夫 | 本多 孝 | 前川 謙二 | 川端 常樹 | 高山 嗣彦 | 五藤 正紀 |
| サブリーダー氏名 | 福西 治 | 嶋田 隆吉 | 藤本 進 | 西川 保典 | 森岡 秀幸 / 植山 哲志 | 佐藤 秀代 |
| 活動の流れ | 24日19:00時より 第1回分科会会議スタート。 1)メンバー自己紹介 2)分科会名称、リーダー、サブリーダー選出 いずれも決まらず 3)フリートーキング(分科会への思い)を行う。 箕面、魅力、憧れ、住みたい街… | 26日(金) 18:00より 分科会第1回 29日(月) リーダーによるメーリングリスト立ち上げの報告 | ・25日 第1回分科会 ・環境などへの意見を出し合う | 10/26(金) 第1回分科会 ・各メンバーの分科会への思いについて披露 | (10月18日の全体会議にてメンバー顔つなぎ 出席者で第1回会合日時決定) | ・全出席者の当分科会参加への動機や思いを語り合い、取り上げるべきテーマを話し合う ・当分科会の進め方に関する意見交換 |
| 10月 | 7日18:30より 第2回分科会会議開催 1)リーダー、サブリーダーの決定 2)箕面の魅力とは:キーワードの討議 3)当分科会の位置づけ(他分科会よりアピール力をもつ) 4)当面の活動計画 | 1日(木)13:30より 分科会第2回 20日(火)13:30より 分科会第3回 27日(火)13:30より15:00 教育委員会関係課との意見交換会 | ・12日 第2回分科会 ・環境関係などの情報蓄積を決める ・19日 第3回分科会 ・名称 ・リーダー ・情報収集や意見聴取の活動計画 H18環境報告書を読み学ぶ | 11/7(水) 第2回分科会 分科会での取り扱う項目について決定 リーダー・サブリーダーの選出(暫定) 11/12(月) 第3回分科会 リーダー・サブリーダーの承認(決定) 当面の活動計画について決定 ・団体等に話しを聞き、テーマごとに学ぶ(計画、指針等をベースに) 偏っても分科会や全体会議等で意見調整をする。 訪問調査予定 | 第1回会合(11月1日) ・取り組み視点や進め方について(次回会合で3名のメンバーからの素案提案を基に、方針等決めることになった) 第2回会合(11月13日) ・名称、リーダー、議事録順番制、名簿作成等運営体制決定 ・「ツリマップづくり」を道具立てに検討を深めていくことを決定(基本テーマ「市民主体の参加型まちづくり」) *分科会のツリマップづくりに当たりまず各自の「私の市民主体のまちづくり」マップを11月28日までに作成 ・関連資料を一部配布。さらにまちづくり理念条例・箕面市民活動冊子を配布し全員目を通すことになった ・当検討シート作成は、論議の大筋を受けリーダー一任 | ・参加者から出されたテーマ案に関連する基礎知識を習得する ・「箕面市の財政状況」 ・三鷹市、芦屋市、伊丹市の総合計画 ・「箕面市経営再生プログラム」「箕面市集中改革プラン」 ・「箕面市企業会計的手法等を活用した財政分析による行財政改善提案報告書」 ・今後の進め方を検討・決定する |
| 11月 | 21日18:30より 第3回分科会会議開催 1)分科会名称と位置づけを決定 2)活動補助シート内容の穴埋め | 30日(金)13:30より 分科会第4回 ・スケジュールの調整 ・団体等に対する意見収集の内容と方法の検討 ・ブレンストーミング等 | | | | |
| 12月 | 11日18:30より 第4回分科会会議 1)わいわい(株)との意見交換内容討議 2)中間報告のイメージ討議 3)来年3月までのスケジュールと課題、担当分担 11日までに:わいわい(株)と意見交換 元気 情報の収集:市民グループおよび他市など 他分科会との関係、接点の確認と調整 日時未定 第5回分科会会議 | 4・6日 講演「自治会に関する情報交換会」に参加 8日(土) 薫英女子短大にて講演「社会で子供を育むために」に参加 その他、情報収集及び現地調査については、担当部署等とスケジュールを調整し、その都度、加えていきます。 見つけた情報収集源(講演会等)は、メーリングリストに流し、参加できる人を募り、分科会にて報告してもらいます。 | 【情報収集や意見聴取】 ・環境報告書を読み深め学ぶ、委員の活動分野関係を ・3日(月・夜)環境ラウンドテーブル～円卓会議 “快適環境づくり”報告書と環境交流(第4回分科会も兼ねる) ・18日(火・夜)第二回ラウンドテーブルと分科会議 ・21日(金、午後7時～、市民活動センター)「ほっとテーブル」に参加予定 テーマ「地球環境問題と箕面市民はどう立ち向かうか」 | *12/1,2(土、日) 人権フォーラム みのお *12/3(月) 19:00～ みのおみちくさロード(場所:ささゆり園) *12/20(木) AM 障害者市民施策推進協議会 18:30～ 伊藤みどりさん講演会(場所:豊川支所2階) その他必要に応じて追加する(国際交流協会など) | 第3回会合(12月4日) 第4回会合(未定) ・「市民主体の参加型まちづくりツリマップ」第1次案(発想・ラフ構想レベル)作成(12月終了目標) *関係庁内部署等とのコミュニケーションは別途設計 *他都市参考情報などインターネットほかで想定される資料を集積。分科会全員が活用できる方法を併行して検討 *21日市民活動センター「ほっとテーブル」(有志出席) | ・引き続き基礎知識を習得する(市のお金の流れ、近隣市・他市の経営改革事例、他) ・財政課との打合せ ・阿部教授、小西教授など行財政改革の専門家の話を聞く ・参加者のアイデアをシートにまとめる ・提言すべきテーマを絞り込む(ゴールのイメージを含む) |
| 1月 | 現状実態調査:人、街(景観、公園、駅前、観光) 関係グループや団体:ヒアリング 課題の抽出:何が問題か?具体化テーマ探求 課題について:将来のあるべき姿(目標)イメージづくり 日時未定: 第6回、第7回の分科会会議 | 市民の方々や3月の中間報告に向けての、分科会として提案するものまとめを適宜行っていきます。 情報収集は同時進行で、行っていきます。 | 【情報収集や意見聴取】 ・ラウンドテーブルの経験をいかし、更に… 第三回と第四回のラウンドテーブル ・みどり保全など市民団体など(ラウンドテーブル成果生ず) | ビジョン・課題の実現に向けての検討(まとめ)の作成 (2,3月) 行政へのインタビュー・コミュニケーション | 第5回会合(未定) ・個別課題・施策の要学習・検証・検討・調査・意見聴取と問題整理、取り組み方等の検討(ヒアリング・資料集め方法や分担など) 第6回会合(未定) ・個別施策の第1次検討 *26日NPOフェスタ「協働について」セミナーに出席 | ・提言内容の検討 ・必要に応じて現場調査や、市民団体・行政担当者・市議員等との対話 ・中間報告会での報告準備を始める(報告内容の概要、分担等) ・提言書のイメージを検討する |

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
|---------|-------------------------------|---|--|--|---|--|---|
| 当面の活動計画 | 資料・データの把握・分析 | <p>1) 健康都市 元気都市 で活動を行っている他市の施策の実態、成果、課題などの内容の調査。(見学、訪問)</p> <p>2) 今後10年の自然環境、社会環境、人間環境における健康問題(こころからだ)の諸問題について(専門家からの情報を得る)</p> <p>3) 駅前活性化委員会 環境など他分科会と意見交換の実施</p> | <p>【学びたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箕面市で実施されている、この分科会で学ぶべき計画等(現状の把握を目的とします) ・この分野に関わる他市の取り組み ・その他 | <p>【学びたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「快適環境づくり」報告書 ・環境最新情報 ・NPOや市民、自治体の取り組み | <p>【学びたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 箕面市の計画等 ・人権のまち推進基本指針他 ・みのおNプラン ・第3期高齢者保険福祉計画、介護保険事業計画 ・健康みのお21 ・みのお市新こどもプラン ・スポーツ振興指針、同計画 ・市立病院経営健全化計画 ・その他 | <p>【学びたいこと】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、「市民参画・参加・協働」に関する関連条例の内容(市民自治を目指して) 2、「市民参画・情報公開・公聴」の行政運営の状況 3、地域課題解決のためのコミュニティの各種団体の現状と現在の行政のかかわり方 4、公益団体・NPOの活動状況と行政のかかわり方の現状 5、施設・病院等公益機関等へのボランティア参加の実態 6、多様な市民活動への支援・促進ならびに協働事業等行政施策の状況(各種支援制度、誘導制度、委託事業含む) 7、各公益機関・市民団体のネットワークの現状 8、「街づくり」市民活動の現状(行政街づくり事業含む) <p>* 他自治体の動向・モデルを参考に して ベンチマーク市 吹田市・豊中市・三鷹市</p> | <p>【学びたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箕面市の財政状況に関する疑問点を学ぶ ・特別会計・企業会計 ・箕面市の経営再生アドバイザーの話を聞く ・経営改革を推進している先進的自治体の例 ・広域連携の実態 |
| | | | | <p>【学習方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境ラウンドテーブル ・インターネット等で調べる ・関係団体の交流会に参加等 | <p>【学習方法】</p> <p>適宜</p> | <p>【学習方法】</p> <p>資料収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット ・行政資料コーナー ・行政依頼 ・訪問収集 ・アンケート? <p>所属課ヒアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動促進課 ・政策企画課 その他 ・近隣自治体 <p>団体・機関ヒアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動センター ・社会福祉協議会 ・商工会議所 その他 | <p>【学習方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政課の職員を交えて ・阿部教授、小西教授の講演 ・ホームページなど |
| | 現地調査 ・現地をみておきたいところ 【次期】 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 市内のスポーツ施設と、利用実態 2) 街の不良景観、公園、不安全箇所、ゴミ分別の確認 3) 駅前商店街および公共交通利用実態 4) 箕面山、箕面観光場所 | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティーセンターなど ・この分科会のテーマで取り扱う関連施設等 ・この分野に関わる他市の施設 ・その他 | ... | <ul style="list-style-type: none"> ・市の施設と体制 ・永寿園、松寿荘、老人いこいの(桜ヶ丘、萱野) ・あかつき園、ワークセンターささゆり、障害者事業団、障害者雇用センター ・ライフプラザ ・らいとびあ21 ・救急・救命体制 ・その他 【適宜】 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動センター・各コミュニティセンター【12月】 ・行事・会議「ほっとテーブル」「NPOフェスタ」「コミセンのコミュニティ会議」その他【随時】 ・さくら会議、まちづくり協議会、幹線道路整備にかかわる近隣自治体活動 地区計画・景観モデル関連【1月以降(状況によれば4月以降)】 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の老朽化の現状 ・経営改革が進んでいる自治体のヒアリング |

| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---------|-------------------------------------|--|--|---|--|--|---|
| 当面の活動計画 | 市民や各種団体との対話 ・誰と「対話したい」テーマ・内容(方法) | ・スポーツ振興課「現在の目標、ねらい、抱えている課題」(ヒアリング中心) ・駅前活性化委員「活動実態(実績、計画、予算)」 ・商工会議所 ・健康管理関係者 ・一般市民「健康意識調査、望み、苦情、施設利用度」(アンケート・面談) | ・自治会 ・青少年を守る会 ・学校PTAの ・地区委員会 ・NPO団体 ・その他 | ... | ・民生委員 ・社協 ・関連NPO 他 | ・市民活動センター「市民活動の現状とセンター機能の方向」(ヒアリング) ・社会福祉協議会「社協の現状の役割と今後の方向」(ヒアリング) ・コミセン「コミセンの今後の方向」(「コミセン会議」(仮)) ・NPO「NPOネットワーク」(「NPOサミット」(仮)) ・学校、青少守会等「地域ができること、期待すること」(ヒアリング) ・地区開発等協議会「市民・行政に望む」(ヒアリング) | ・特定非営利活動法人 みらい自治 ・みのお議会ウォッチングの会 ・社会福祉協議会 ・モットネット会議 ・市議員 |
| | 第9回全体会議までに実施した内容の経過報告(概要) | 10月24日「箕面の魅力アップで憧れの街に」で分科会活動を開始した。1回、2回会議とも「箕面の魅力」「THE箕面」でフリーターキングを実施するもこれらについて内容が具体化せず。(キーワードの列挙で討議が進んだ) 箕面の3K(観光、教育、景観)、緑、風、風景、国際化、歴史、安全安心 しかし議論の過程で以下の問題をチーム確認できた。 1)他の5つの分科会と違って当分科会は市民の究極の願いから「生きる権利」を目的として自由な発想をベースに、前向きに課題の定義が出来る。(自由課題だ) 2)20世紀後半、日本は人も街も環境も疲弊した。この状況から本来の姿へもう一度戻し、次世代へバトンタッチしていく事が肝心である。 3)魅力ある街とは「安心、安全、心安らぐ街」そして「若い世代」が住みたい街だ 4)健康とは従来「医療、介護」を中心に個人の課題との考えであったが、これからは「こころ」がより重要で「精神面」の安定、充実の為に、行政の役割が一層大切である 以上の観点から第3回会議において 分科会名称:「元気」みのおサブタイトル 人が元気、街が元気、やまが元気とする この事の実現により憧れの箕面 住みたい箕面 の創出が可能である。他の5つの分科会とは検討切り口が異なるが、最終的にはそれらと深く融合し結果的に「箕面の将来を魅力ある」ものにすべく検討を重ねていく。 | 10月26日(金) 分科会第1回 1.出席者の自己紹介と分科会に参加した動機をみんなで語りました。 2.「分科会活動の計画のための検討補助シート」の検討 ・名称については(仮)付で ・リーダー及びサブリーダーの選出 3.この会のあり方を話し合いました。 4.報告・連絡・相談の方法の話し合い。 ・メーリングリストの立ち上げ(リーダーによって29日に立ち上がり) 11月1日(金) 分科会第2回 1.他の分科会と抵触する部分の兼ね合いについて話し合いました。 2.会の方向性を、会員で共有するため、分科会に関するキーワードを取り出し、話し合いました。(リーダーによるまとめの作成) なお、新しく参加された方の自己紹介はお互いの理解と親交を深めるため、その都度、行っています。 11月20日(火) 分科会第3回目 1.「分科会活動の計画のための検討補助シート」の完成に向けての話し合い。 ・持ちよった情報の共有と今後の活動スケジュールを話し合いました。 2.キーワードの整理(リーダーによるまとめの更なる改良) 11月27日(火) 教育委員会関係課との意見交換会は予定として決定しています。 | 10月25日 第1回 分科会 ・環境などへの意見を出し合う 11月12日 第2回 分科会 ・環境関係などの情報蓄積を決める 11月19日 第3回 分科会 ・名称「人が育てる環境」、リーダー ・情報収集や意見聴取の活動計画 H18環境報告書を学ぶ“ラウンドテーブル”推進 | 分科会の当面の活動計画(11月～1月)のとおり ・担当部局 人文、健福、子ども、市民スポーツ、市立病院 ・計画 関連担当部局の計画等 ・市民の視点を大切に (現場の市民の声) ・対立、利害の調整も市民主体で ・提言を受け取る側(行政)が納得できるポイントも必要 ・中間報告のイメージ 素案を市民に提起し、その意見を勘案して最終報告につなげるもの ・行政の現場、職員の声も勘案する 行政側が一体感を持てるようにプロセスにも配慮が大切 | 第1回会合(11月1日) 分科会の取り組み視点や進め方検討 第2回会合(11月13日) 「ツリーマップ」を道具立てに検討を深化させることを決定 財政の現状分析(一般会計、特別会計、企業会計、外郭団体)、経営再生プログラムの検証、市民にわかる財政、財政の健全化、受益と負担の適正化、ムダを減らす・コスト削減、財源の拡充(収益事業など)、老朽化施設対策、遊休・低活用資産の活用、財政目標 行政の役割・市民の役割、行政の効率化(タテ割りの弊害排除)、市職員に対する期待、市議会の改革、ボランティアなど市民パワーの活用(市民職員)、助役は市民公募、シンクタンク、アウトソーシング、住民の監視機能、自治基本条例、広域連携、オンブズマン制度、自治体経営白書、市民討議会、総合計画 | |

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|--------------------------|---|--|-----------------------------|--|---|--|
| | B案 | B案 | | B案 | | B案 |
| <p>来年秋に提出する提言書のイメージ</p> | <p>A案では我々の検討した内容が十分に理解されがたいものになる恐れがある。またC案では行政の実行領域とのかかわりもあり、すべてを提言する事はむづかしい。また検討期間面からも困難となる。</p> | <p>結論として：B案(C案に近づきつつ、これからの調査によって、新しい問題も見つけ出し、施策として提言できるまでに昇華するようにすることが目標です)</p> <p>A案では、抽象的であり、市民会議から提出されたあとで、違った解釈をされてしまう可能性がある。また、市民が納得して、協力してもらえる案として、もっとしっかりしたものを目指したい。A案では足りないのではないかと。よって、A案は最初に消えました。</p> <p>B案とC案については、C案の意味する「すべての施策」とは第4次総合計画に上げられたものに関するものであり限定的なものなので、生活や現場に根ざした視点から、新しいものも施策として取り込みたいとのことから、BからCを目指しつつ、新しいものも取り込みたいとの結論に至りました。また、B案は最低ラインでありたいとの参加者からの思いも語られました。</p> <p>問題としては、マンパワーの不足が考えられます。)</p> | <p>現時点では、まだ、早いのでは……………。</p> | <p>・まちづくりの方向性と実現性が重要。本当はC案としたいが、分科会レベルでは、B案でよいと思う。</p> <p>・方向性だけでは、大まかすぎる。C案は詳細になり難しい。主要な施策を示してはどうか。</p> <p>・提言書は、可変性がある。市民の方も見るのであれば、納得してもらえるものが必要である。</p> <p>・本来、提言書はA案であると思うが、たくさん思いを持った人たちの分科会でもあり、また次の策定委員会へつなげる時に、すべてでなく、できる項目については具体的にイメージできるものがある方がよい。</p> <p>・市民は事業レベルを期待している。A案だけでは市民が納得できないのではないかと。少なくとも主要な施策目標を示したB案が妥当である。</p> <p>・まちづくりの全体的なイメージの方向性を提言し、望むべき施策を5点ほどに絞り込むことにより、市民会議の提言がいかされる実態を確認できる。</p> <p>A案では、提言がいかされたのかわからない、またC案では時間的に中途半端になってしまい市民会議の提言がなくなってしまう。</p> | <p>・現状・現段階では、各分科会のテーマ深耕を最優先に取り組むことが重要。全体の提言の仕方については、来夏ごろから、各分科会の掘り下げ内容をにらみながら検討しても、十分間に合う。ただし、各分科会とも、抽象的な論議に終わることのないように取り組み方針を共有化しておくことが必要。それでも、施策のレベル差は出る。極端な話、抽象化は、具体的内容があればどうにもなる。たとえば、基本構想の中の「2020都市像」は、各分科会の検討結果を踏まえ、組み立ては可能。</p> <p>・一方、総計の位置づけ・期間、個別計画との関係、総計の構成のあり方(基本構想と基本計画内容・施策レベルや、市政運営の基盤である「市民自治・協働」や「行財政」関連の構成上の位置づけ等)研究しておくことが必要。これらの前提事項が変われば、提言内容が、方向性なのか、施策概要なのか、具体的施策なのかの位置づけは変わる。いずれをとっても、抽象化した言葉作りでは、提言・提案の意味が無い。</p> | <p>方向性を示すだけでは提言事項が総合計画にどの程度反映されるのか曖昧になる危険性がある。但し、全ての施策について提言するのは困難なので、特に改革を要する施策に絞って、実現可能な具体的な施策を提言する。</p> |
| <p>世話人会、事務局への質問・意見など</p> | | | | | <p>・各分科会にまたがる資料整備・情報は、事務局で整理、提供いただきたい。(最近の議会での質疑、他市の総合計画への市民会議提言・提案の活かされ方など)</p> <p>・市民会議の提言・提案が確実に活かされるための方策について、全体会議、政策企画との検討会等の機会を設け、世話人会主導で検討を進める必要がある。</p> <p>・メンバーが活躍している公益活動(NPO・委員会・コミセン等)のリスト作成を希望。</p> <p>・中間報告のまとめ方など、近々のゴールイメージを早々に決めておく必要がある。</p> <p>・職員会館に早く資料室を。できればインターネット・コピー機があれば便利。</p> | <p>市民会議の提言内容が次期総合計画に確実に反映されることをコミット願いたい。折角提言しても策定、決定の段階で無視されたり骨抜きにされたのでは、市民会議参加者の苦勞が水泡に帰すばかりでなく、行政に対する市民の信頼が一層失われかねない。</p> |